

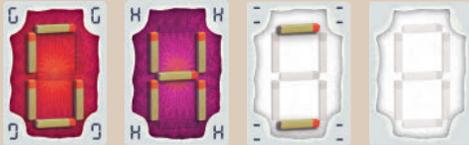


マッチ売りの大富豪



説明書・プレイのヒント集

内容物



カード 16 枚
(カード 4 種 × 4 枚)

カード内訳…G、H、=(イコール)、blank (空白)



強弱表示シート (G,H)
1 枚



マッチ棒トークン
10 本

※色は異なる場合があります。



説明書・ヒント集

『マッチ売りの大富豪』第 1 弾拡張を手にとっていただきありがとうございます。

通常ルールで何回か遊んでから、この拡張からカードを何枚か追加して遊んでみてください (いきなり 16 枚全部追加するのはオススメできません)。

・作者がオススメするのは G を 2 枚、H を 2 枚加え、合計 60 枚にする遊び方です (60 枚なら 4~6 人で遊んでも手札の枚数差がない)。

G や H を作れる数字は何か? 考えてみましょう!

・また 7,8 人プレイは拡張カードを入れずとも可能です。

通常版だと確実にマッチ棒が足りなくなりますが、この拡張のマッチ棒 10 本を加えれば 7~8 人でもマッチ棒が足りなくなることはないでしょう (もし、足りなくなったらチップなど他のもので代用してください)。

・「=(イコール)」や「blank (白紙)」はそのままでは出せません。マッチ棒が必須となるカードです。8 枚全部入れた場合、手札に blank が大量にきた人は相当苦しい戦いを強いられるのであまりオススメしません。入れるとしても 2,3 枚程度にとどめる方がいいかもしれません。または、プレイヤー全員に「=(イコール)」か「blank」を 1 枚ずつ配る、というのも面白いでしょう。

・16 枚の拡張カードすべてを入れて遊ぶのもハチャメチャになって、それはそれで一興です。ハチャメチャさを楽しめる人と遊ぶ場合にはそれもよいでしょう。

・blank カードにペンで書き込んで J や L といった新しい数字を作ってみたり、三(クシィー)などマッチ棒を足さないとおせないカードを新たに作ってみてもよいでしょう。あなたの創造力にお任せします。

・カードとして G や H は 1 枚も入っていないが、数字を G、H に変化できる」というルールもありでしょう。創意工夫をしてみましょう!

拡張によるルールの変更点

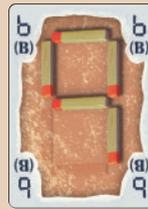
親の最初の手番で、親の手札が「=(イコール)」や「blank」のみになってしまい、どうしてもカードを出せない場合に限り、手札を全員に公開し、カードを出せないことを証明することで、親の最初の手番でパスすることが可能になります。



必読

マッチ売りの少女からみんなへのヒント集

- ・このゲームは二回目からが本番だ!! 一回目でよくわからなかった人も、もう一回やればコツが掴めるよ!
- ・Aを作れる数字は何だろう? (4のほかにもあるかな?)



- ・8の革命に対して、6(9)や3(E)を5枚用意しておけば必ず革命返しができるぞ。
- ・1はかなり色々な数字を作れるよ。
- ・手札1枚残しは自分の首を絞める結果になりかねないかも……?
- ・2・5・6・8・9など真ん中あたりで、なおかつマッチ棒を消費しにくい数字を最後に残すと苦しいかも……?



公式サイト
heyteam.net



X アカウント
[@h_e_y_team](https://twitter.com/h_e_y_team)

内容物の不具合やご不明な点がございましたら、上記からお問い合わせください。エラッタ（データやルールのミス）なども公式サイトに記載します。